

### 吉見宏氏の質問

- \* 会計検査院検査は国の政策そのものは検査の対象としないと理解しているが、政策の適否を判断することなく特別会計の検査を有効に行えるか？
- \* 報告にある「会計制度そのものの監査」は国の政策の是非に踏み込むものではないか？

### 吉見氏の質問への回答

- \* 会計検査院「特別会計の状況に関する会計検査の結果について」（2006年10月18日）
- \* 参議院からの要請を受けて実施した10の府省が所管する特別会計の会計検査を実施したもの
- \* 電源特別会計についていえば、国の原子力行政そのものに意見を述べていない。しかし、不用額の指摘など、「行政府の財政運営の監視を支援する」有用な情報を提供している。

### 熊谷重勝氏からの質問

- \* 報告では将来の財政支出の会計処理として「引当金会計」を検討するとともに「積立金会計」にも言及している。  
この点、どちらが妥当な会計処理と考えるか？

### 熊谷氏の質問への回答

- \* 財源留保という側面に着目すれば、負債としての留保か目的積立金としての留保かに実質的な差異はないと考えられる。
- \* しかし、積立の「目的」を所管省が恣意的に解釈し、多額の不用額を発生させつつ、繰越・積み立てを続けてきた経緯に鑑みると、任意性が介在しない負債の要件を満たす将来の財政支出に限定して繰り越し・積み立てを認めるのが財政規律を確保する上で望ましい。

### 野中郁代氏からの質問

- \* 報告は電源開発対策特別会計の不用額について会計の負債性引当金等の論理によって規制しようとするものと理解した。
- \* 行政はエネルギー需要の拡大、原発立地目標から特定財源額を決定し、不用額は目標未達成額であると説明すると思われる。
- \* そうであれば、どのような会計の論理で規制するか？

### 野中氏の質問への回答（1）

#### —近年の政府の対応—

- \* 2007年度予算から、「積立金明細表」を添付書類とし、その中で積立金の必要性、必要な水準について説明することとされた。
- \* しかし、本「特別会計の財務の健全性を確保するために必要な金額まで積み立てることとしている」（財政融資資金特別会計）など、依然として曖昧な説明が続いている。

### 野中氏の質問への回答（2）

#### —私見—

- ①「使途未定」のままの繰り越しについて将来の支出予定の詳細を質し、時期・目的を具体的に説明できない場合は、一般会計へ繰り入れさせる。

電源特別会計の場合（H16年度）  
 翌年度繰越額 2,163億円  
 うち、使途未定額 1,809億円

### 野中氏の質問への回答（3）

#### —私見（続）—

- ②支出予定の前提になる事業計画の実行可能性の精査  
 電源立地対策交付金の予算要求の場合：  
 \* 電力会社が策定する施設計画を採用  
 \* 発電所立地の現実性をどの程度、反映しているか？  
 青森県下北郡への誘致計画：9回延期

### 野中氏の質問への回答（４）

#### — 私 見（続） —

③用途が拡張・新設・変更された場合、その合規性を精査する必要がある。

\*1980年、目的税増税（千kWh当たり85円から300円へ）とセットで「電力多様化勘定」を新設

以後10年間の当勘定からの歳出内訳：

動燃事業団への出資・助成 48.0%

その大半は高速増殖炉の開発費用

↓  
電源立地対策目的からの付け替え

### （参考）電源特別会計の財政状況

| 資産の部   |       | 負債の部      |       |
|--------|-------|-----------|-------|
| 現金預金   | 2,956 | 未払金       | 0     |
| 未収金    | 2     | 賞与引当金     | 3     |
| 貸倒引当金  | △ 2   | 退職給付引当金   | 28    |
| 有形固定資産 | 76    | 負債合計      | 31    |
| 無形固定資産 | 5     | 資産・負債差額の部 |       |
| 出資金    | 5,292 | 資産負債差額    | 8,294 |
| 合計     | 8,324 | 合計        | 8,324 |